

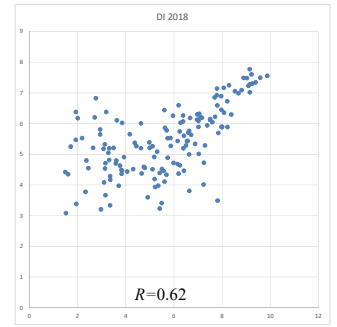
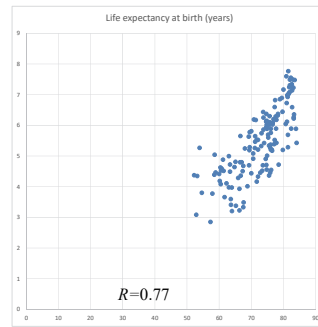
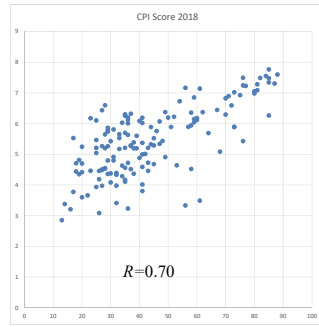
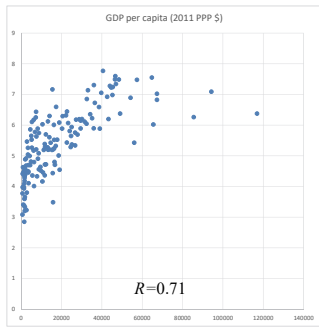
# 人の幸福度における人間関係の重要性

芝井 清久 データ科学研究系/ROIS-DS社会データ構造化センター 特任助教

## ■ 人間の幸福度を測る様々な研究

「人生を幸福に生きること」は常に社会の大きな課題。貧困・飢餓や差別・迫害といった社会問題からの解放にもかかわるテーマでもあることから、多様な視点から人間の幸福を測る研究がおこなわれている。

- 政治的権利(人権や暴力からの解放)や健康も重要視される独立変数。(Amartya SenやR.J.Rummelの研究)
- 幸福度との意外な関連を示す研究も存在する。
  - Van de Vliert & van Lange (2019)によると、地理的な国の位置と幸福度の関連を分析:赤道から離れるほど幸福度が高くなる、個人主義が強くなる、攻撃性が減少する。



## ■ 国際調査データによるSocial Capital研究

基本的に考えられる独立変数は豊かさ。幸福感と生活の豊かさは正の相関にある。

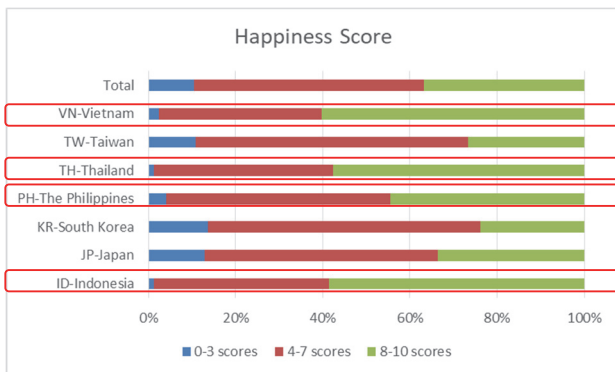
しかしながら、単純に物質的に豊かになることだけが幸福を決定する変数とは限らないことが明らかになっている。

- 国内データでは幸福と所得に正の相関があるが国家間では見られない。(Easterlin 1974)。
- 金額が一定以上になると収入の効果は頭打ちになる (Jebb, et al. 2018; Kahneman & Deaton 2010)

人間の幸福における「人間関係」の重要性の指摘。

- 東アジア各国の大学の国際共同研究によるSocial Capital関連のデータから現状を検証。

### 幸福度(0-10点の自己評価)の分布



途上国は幸福度が非常に高く、日台韓では0-3点の割合が20%近い。

### 幸福度の自己評価を従属変数とした回帰分析

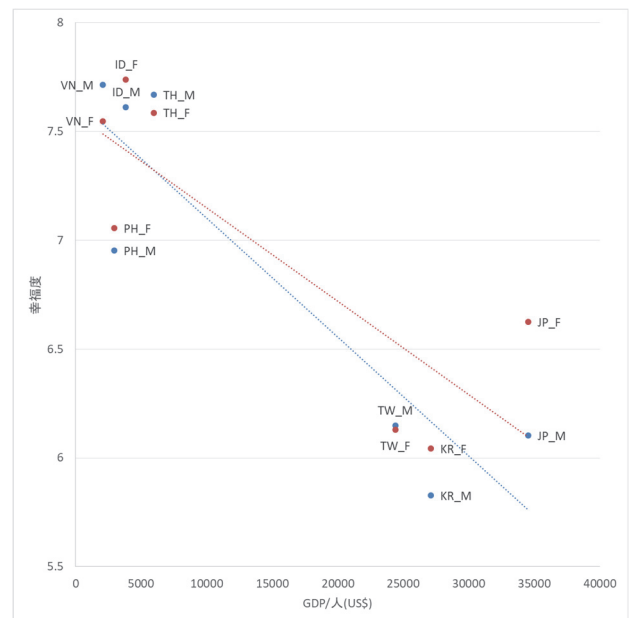
Dependent Variable: How happy are R currently

	Estimate	StdError	t value	Pr(> t )
(Intercept)	1.118026	0.058883	18.987	<2E-16 ***
Duration of current marriage	-0.00454	0.001195	-3.804	0.000143 ***
Number of children alive	0.04313	0.013137	3.283	0.001031 ***
Number of family members living together	-0.02967	0.008597	-3.451	0.00056 ***
1: Current life overall	0.49192	0.010682	46.051	<2E-16 ***
2: Family finances (income, expenses)	0.001216	0.008242	0.148	0.882724
3: Employment and job stability	0.02328	0.009826	2.369	0.017842 *
4: Job Satisfaction	0.032142	0.009093	3.535	0.00041 ***
5: Family life	0.146068	0.01218	11.993	<2E-16 ***
6: Married life	0.086719	0.009351	9.274	<2E-16 ***
7: Relationships with friends and acquaintances	0.034471	0.009421	3.659	0.000255 ***
8: Area of residence	-0.00685	0.008478	-0.808	0.41913
9: Amount of spare time	-0.02456	0.00947	-2.594	0.00951 **
10: Quality of spare-time usage	0.043649	0.010387	4.202	2.67E-05 ***
12: Current personal health	0.04653	0.0017321	6.356	2.17E-10 ***

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

Residual standard error: 1.146 on 8815 degrees of freedom  
Multiple R-squared: 0.6787. Adjusted R-squared: 0.6781  
F-statistic: 1330 on 14 and 8815 DF. p-value: < 2.2e-16

国家間の比較結果は明らかに豊かな国の人々のほうが幸福度が低いことを示唆。



- 収入の満足度は有意ではなく、家族、結婚、友人関係などが有意であり、係数も正の値。
- 人間関係の豊かさが幸福度に結び付いていることがわかる。